

---

---

## Supermicro MicroBlade + XenApp での性能検証

---

---

Supermicro の MicroBlade に、XenApp を導入し、お客様の出荷伝票入力アプリを稼働させ、パフォーマンス性能を検証。

---

---

### 背景・課題

---

---

海外(ベトナム)から、東京にあるデータセンターに接続してアプリケーション(伝票入力アプリ)を使用させる ThinClient の要求がありました。

当初は HCI(Hyper Converged Infrastructure) 上で XenDesktop による VDI の提案をしていました。そこで HCI 構成を作成するにあたり試算をしたところ、エンドユーザーの使用するアプリケーションの CPU 負荷が高く、サーバーの台数が多く必要なことが判明しました。結果としてコストが膨らんでしまう状態になることがわかり、別の手段を提案する必要がありました。

---

---

### CAMSS センターでの検証概要

---

---

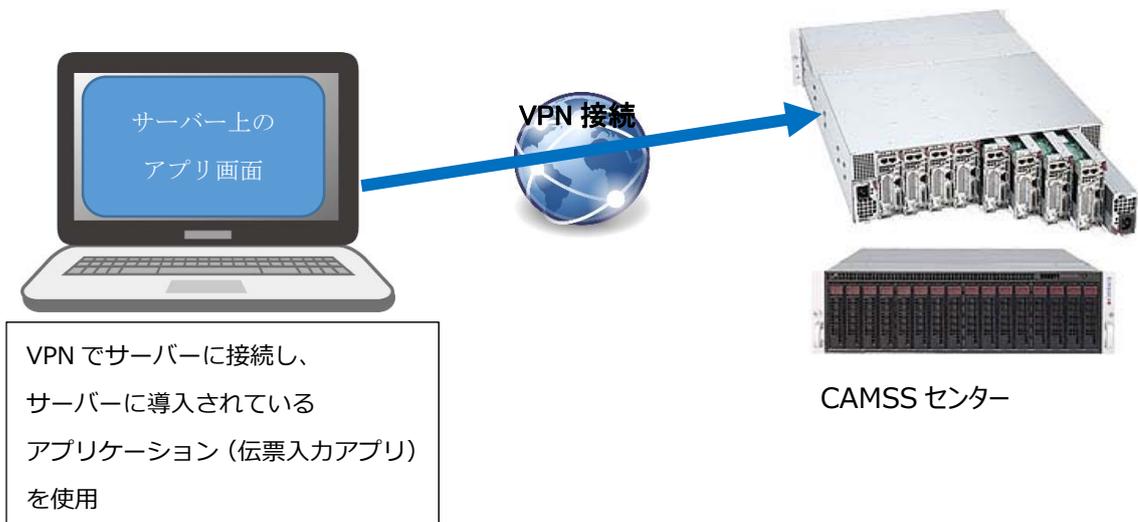
#### 使用したハード/ソフト

- ・Supermicro MicroBlade
- ・Citrix XenApp
- ・Windows Server 2012R2

XenDesktop による VDI ではなく、XenApp によるプレゼンテーション方式に変更。さらにサーバーも高密度の MicroBlade に変更し、CAMSS センターにて性能検証しました。(VDI とプレゼンテーション方式の違いは後述)

検証そのものは順調に実施でき、検証結果をもとにハードウェアの構成をするとハードウェアの費用が概算で HCI に比べて 6 割程度に抑えることができました。

現在もお客さまのご検討中であり、2017 年度導入を目指しています。



---

### パートナーさまの声

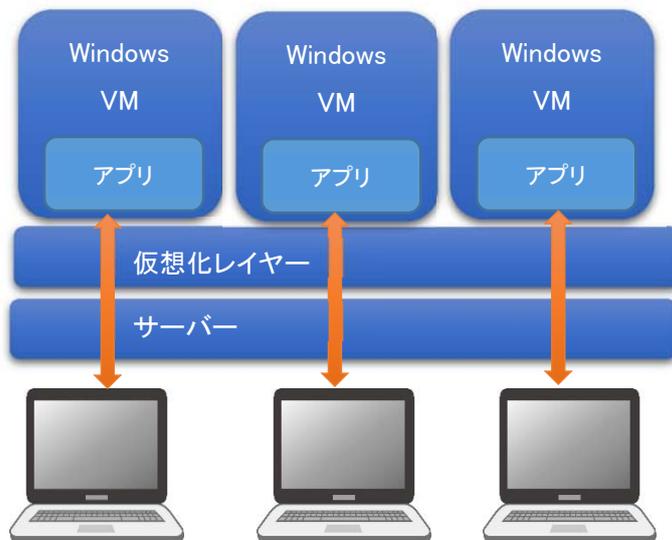
---

「実際の環境を準備しない限り検証できないテストだったので大変助かった。」  
「お客様に構成および性能結果を報告したところ、お客様はご満足され、今後の導入・展開の確証を得ることができた。」

=====  
(参考)ThinClient における VDI とプレゼンテーション方式の違い  
=====

1.VDI (XenDesktop)

複数のクライアント OS 用を用意し、1 クライアントが 1 OS を占有利用する方式



2.プレゼンテーション方式

Windows Server 上に導入したアプリを複数のクライアントで共用する方式

